

外貨の金融商品について学ぼう！ 円高で魅力がいっぱい、でも慎重に

日本の金利は世界一低い

日本の金利は世界で一番低いようです。右に掲げた表は、主な世界の「政策金利」です。政策金利とは、その国の中央銀行が操作することができる金利で、物価が上昇すると政策金利を上げ、景気が後退すると政策金利を下げる傾向にあります。

日本より金利が高い海外に投資したい場合、「外貨預金」「外貨MMF」「外国債券」「外国債券で分散投資する投資信託」などがあります。

外貨預金は、米ドル、豪ドルなど外貨建てで行う預金のことで、日本で行う円の預金と基本的な仕組みは同じですが、円の預金と違い「預金保険制度」の対象にはなりません。金利は各通貨の国の金利が反映されるので、通貨によって金利は異なり、同じ通貨でも銀行によって異なります。外貨預金は、円ベース（円で計算）では為替の変動（為替リスク）があるので元本保証ではありませんが、為替の変動を計算しない外貨ベース（外貨預金の通貨で計算）では元本割れはしません。

外貨MMFは、外貨で運用する投資信託の一種で、優良企業の社債や国債などの短期の債券で運用しています。高格付けの債券等で運用されているため安全性が高く、流動性も高いのが特徴です。預金と違って外貨ベースでの元本保証はありませんが、元本割れはしにくい仕組みになっています。

いろんなリスクを考えて

外国債券は、債券としての信用リスクや金利

主な国の政策金利

日本	0～0.1%	アメリカ	0～0.25%
ユーロ圏	1.5%	オーストラリア	4.75%
中国	6.56%	インド	8.25%
ブラジル	12.0%	南アフリカ	5.5%

変動リスクはありますが、債券の発行先が破たんせず満期まで持てば、外貨ベースでは元本保証になります。金利は、同じ通貨の外貨預金や外貨MMFより高くなります。

このような外貨建て金融商品の多くは、通常円を外貨に換えて商品を購入し、満期時あるいは売却時に受取る外貨を円に換えるため、為替リスクが伴うことになるわけです。

例えばドルの場合、1ドル100円が1ドル80円になればドルが安くなったことになり、「ドルが安い」ということは、「円高」というわけです。逆に1ドル80円が1ドル100円になれば、「ドル高」であり、逆に言うと「円安」です。為替リスクとは、為替の変動によって損益をこうむることです。

海外に投資する場合、信用リスクや金利変動リスク、為替リスクなどがあるので、単純に金利が高い商品が良い商品とは言えませんが、ドルをはじめとして海外の通貨が円高傾向にある現状を考慮すると、外貨の金融商品の魅力は増えています。

暮らしのマネープラン
相談センター・所長
サーティファイド
ファイナンシャルプランナー

高橋 昌子



あなたの暮らしと財産を守るパートナー

■トータルマネープラン 4回/3万円
(住宅ローン、保険、年金などの総合的アドバイス)

■マイホーム資金計画・住宅ローン 4回/3万円
(無理のない予算、購入時期、最適なローン等アドバイス)

■住宅ローンの見直し 2回/1万円
(見直し・借り換えの効果、借り換えローン等アドバイス)

■生命保険の見直し 2回/5000円
(保障内容の分析、加入・見直し、商品選択等アドバイス)

■年金・老後資金プラン(退職準備) 4回/3万円
(個人年金、役立つ金融商品、退職後の各種手続き等アドバイス)

■相続に関する相談 5回/5万円
(遺産整理、相続対策、遺言書、相続手続き等のアドバイス)

※予約が必要です。
※回数は目安です。



金沢市此花町3-2 [ライブ1ビル1F]

☎076-232-2038

暮らしのマネープラン相談センター

(株)FPサポート研究所 <http://www.fpsl.co.jp/>